

JR東労組 本部OB会

ニユース

No. 194 2014年 1月発行

東日本旅客鉄道労働組合

東京都渋谷区代々木2丁目2番6号

JR新宿ビル13F〒151-8512

Tel. 03-3375-5740 (代)

発行責任者 古川建三

明けましておめでとうございます



JR東労組OB会

会長 古川建三

危険すぎる安倍政権

明けましておめでとうございます。昨年会長に就任してから八ヶ月が経過し、初めての新年を迎えました。この間、会員の皆さんの絶大なご協力を頂き、感謝申し上げます。

大震災により被災されたOB会員を支援するために、各地の物産品を届ける取り組みを二年間実施してきましたが、昨年末で一定の整理をしたと思います。まだまだ被災地での避難生活は改善されていませんので、今後何かありましたら相談に乗れるよう支援体制は継続していきます。

さて、先の参院選では圧倒的な自民党の勝利を許してしまいました。JR東労組が推薦した選挙区では三名の当選にとどまり、比例区では山岡けんじ氏の議席を得ることができませんでした。OB会も一定程度の役割は果たしましたが、全体的にマスコミ誘導に騙され、埋没してしまつたと反省しています。

迎春



安倍政権は、憲法改正・原発推進・TPP参加・消費税増税・福祉切り捨てを掲げ、健全野党が存在しない為大政翼賛政治を推し進めています。最たるものは、国家安全保障会議設置法や特定秘密保護法です。まさに言論を統制し、着実に戦争の出来る国づくりを進めているのです。専守防衛から先制攻撃にカジを切る安倍政権の暴走は、余にも危険であり、世論の力で「特定秘密保護法廃止」を求めていく闘いを創り出しましょう。

平和なくして社会保障なし

自民党政権は、社会保障制度の大改悪案を準備しています。とりわけ、軽度の要介護者を保険対象から外すことや、利用者の負担増など、介護保険の「改悪」へと流れを創っています。さらに年金支給開始年齢の引上げ、生活保護基準の切り下げ、年金給付の削減が打ち出され、後期高齢者医療制度は温存するなど、まさに高齢者は二重三重苦の有様です。

高齢者が大切にされる社会は、平和なくして実現しないことを、改めて確認しましょう。また社会保障制度は、現役労働者の雇用安定がなければ保険収入が伸びないわけですから、現役との連帯した取り組みは重要です。

原発は必要悪か

あの3・11大震災から丸三年を迎えようとしています。深刻な高濃度汚染水漏れと広大な森林汚染、特に民有林除染には20年かかり、未だに故郷を追われて避難生活を強いられています。また、炉心が溶け落ちていないか、燃料棒の取り出しに重大なミスが起きないか、中間貯蔵施設は永久にこみ捨て場にならないのかと心配ことは重なります。

希望ある年にするために人間愛を

昨年の12月11日、美世志会地位確認訴訟で「全面棄却」の不当判決が出されました。権力丸出し判決です。本部OB会は、あくまでも現職復帰を求め、美世志会や現役の皆さんと連帯して闘っていきます。

昨年の12月13日、東労組初代委員長・松崎明さんの没後三年と東中野事故から25年・安全文化の継承を目指す大集會が開催されました。新生JR東日本(株)を作り上げた最大の功労者であり、東労組を本物の労働組合として育て上げた、ヒューマン溢れた松崎さんを偲び合いました。

会社との労使関係が厳しい時だからこそ、もう一度国鉄改革の精神を全員で確認し、団結を打ち固めなければなりません。

昨年末、田城参議院議員の紹介で厚労省・国交省の担当者を招いて、石綿問題に関する勉強会を行う事が出来ました。企業の責任として離職後も石綿健康管理

手帳制度並びに労災補償制度と特別遺族

給付金制度の周知と申請の勧奨は行ってもらわなくてはなりません。今回のように一人の国会議員がいることで、組織として出来ることは数多くあります。そのことから、2016年7月に行われる参議院選挙では田城郁の再選を実現しなければなりません。本部OB会もこの2月から4月にかけて、今年の田城後援会加入の取り組みを行いますのでご協力をお願いします。さらに、支持者カードの取り組みも逐次開始していきますので、よろしく願います。

昨年末から大変寒い冬を迎えています。「いかに生きるか」は大変難しい言葉ですが、要は「いかに健康で生きるか」だと思います。OB会員の皆様のご健康とご健勝をお祈りし年頭のご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願い致します

- 顧問 大熊勝明
- 会長 古川建三
- 副会長 佐々木源幸
- 副会長 島崎明
- 副会長 本田祥章
- 副会長 金子秀一
- 事務局長 伊藤義男
- 事務局次長 石井宏武
- 事務局次長 川崎昭雄
- 事務局次長 植松健
- OB担当 君塚敏男

二〇一四年 元旦



新年のあいさつ

参議院議員 田城 郁

明けましておめでとうございます。昨年中は、OB会の皆さんには大変お世話になりました。今年もよろしくお願ひします。

昨年安倍政権が成立させた特定秘密保護法と労働諸法制の改悪は、日本を暗黒の時代に導くものです。この憲法の廃止を実現する闘いを強めなければなりません。決意を新たにしています。

鉄道での復旧を

さて、昨年の臨時国会では、待望の「交通政策基本法」をやっと成立させる事が出来ました。誰もが必要な時に移動する、あるいは物を運ぶことのできる総合的な交通体系を構築するという精神は生かされた法律になっていると思います。

この法律に基づけば、大震災の津波で流された鉄道は、鉄道として復旧させる事が筋であると思います。地元の皆さんや組合員・OB、そして地元国会議員と私がスクラムを組んで、何としても鉄道の復旧を実現したいと思ひます。

社会保障の改善に先

現在年金で生活されている高齢者は、大変厳しい状況に置かれています。昨年の秋からは、年金の「特例水準」が廃止され、1%の減額が始まっております。さらには春からは消費税が

公設秘書

佐々木 求

畠山 浩信

安川 登

今年もよろしくお願ひいたします

8%になります。

私もOBの皆様のご意見を絶えず気に留めながら議員活動を行っていますが、年金、介護、医療などの社会保障制度の改善は進んでおりません。この問題については、今後全力を挙げて取り組んでまいります。

OBの声を国会へ

昨年12月、国鉄時代から工場に働いていたOB会員の多くの人が石綿で「健康不安」を感じているというお話を聞き、OBの皆様が直接厚労省や国交省とお話が出来る場を持つお手伝いをさせて頂きました。

これからますますOBの皆様のお声を聞き、長年苦労されてきた先輩の皆様が安心して暮らせるよう頑張りますので、またこの一年のご声援をお願いします。

2014年1月



組織拡大はかり、力量高めよう！



日本高齢者・退職者団体連合会
会長 阿部保吉

会員ご家族の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。東日本大震災で被災された皆様には、過酷な日々を暮らしていることを憂い心からお見舞いを申し上げます。

政府の震災復興の遅れはもとより、福島原発事故の汚染水漏れなども収束出来ずに新年を迎えました。私たちは、大震災で平穏な暮らしを奪われた皆様が、住まいや雇用、医療と介護、子ども達が元気を取り戻す日まで支援してまいります。

昨年年末の臨時国会では、安倍政権が狙う集団的自衛権の行使と一体の特定秘密保護法案が上程されましたが、与党の強引な国会運営による問題点の解明がされず、政治不信が高まっています。防衛、外交等4分野を対象とするこの法律は、公務員のみならず民間の人にも処罰対象とされ、また「何が秘密なのかも秘密」と言われるように、国民の知る権利を封鎖する反国民的な法律と言わざるを得ません。言論の自由を奪い弾圧した戦前・戦中の治安維持法の再来を許さないうちの取組む必要があります。

社会保障制度見直しの手順を定めた政府のプログラム法案は、年金はデフレ下のマクロ経済スライドの発動を許さず、また医療は、差別的な後期高齢者医療制度の継続に反対します。更に150万人に及び要支援者を、介護保険から切り離す改革案にも反対し修正を求めます。政権交代で社会保障制度が大きく後退しつつありますが、こうした自公政権の暴走を阻止するため、組織の拡大を図り、力量を高めるよう全力で取り組めます。

2014年1月